

東建パブリニュース

平成28年7月20日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成28年7月14日 中部経済新聞 P. 2

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

不動産仲介店 13店舗出店へ 東建コーポ 今期の重点戦略

東建コーポレーションの左右田社長は13日、2017年4月期の重点戦略を発表した。今期は関東地域を中心に不動産仲介店舗「ホームメイト」の直営店を新たに13店舗出店し、初の売上高3千億円超えとなる301.8億3600万円を目指す。さらに名古屋市内で高級賃貸マンションを年内に2棟着工するなど、中期の経営戦略も明らかにした。

ホームメイトは、神奈川県川崎市や東京都町田市などで直営6店舗を新規に出店。さらに既存7支店をホームメイト店に変更する。これにより今期末のホームメイト店を68店舗に拡大させる方針。

また、支店開設に先立ち営業部隊のみを置く「準備室」を関西圏や首都圏などに12カ所設置する。支店とホームメイト店、準備室合計で今期末に240店舗にする考えだ。

店舗戦略に併せて、採用方針を見直す。これまで営業社員は即戦力となる中途採用を中心に採用してきたが、新規採用にシフト。来春の営業社員は、今春実績比4・7倍の300人を予定している。

一方、強化している高級賃貸マンション事業は「都市部で事業拡大を目指す」（左右田社長）。名古屋市中区栄の映画館「ヘラルドシネプラザ」の跡地に10月に着工、19年1月の完成予定。規模は地上28階建てで延べ床面積は2万6887平方メートル、戸数は約156戸で、賃料100万円程度の部屋も用意するという。また、同区丸の内でも地上25階建てのマンションを年内に着工する予定。



経営戦略を発表する左右田社長

中期の店舗戦略について左右田社長は「競争力のあつる適地に支店を移転させる」とし今後、3年間をかけて全国の支店75店舗を移転する計画だ。

また、同区丸の内でも地上25階建てのマンションを年内に着工する予定。